

研究者同定とその応用へ向けて

高久雅生[†] 相澤彰子^{††} 馬場康維^{†††}

[†] 物質・材料研究機構 科学情報室

^{††} 国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 / 総合研究大学院大学

^{†††} 情報・システム研究機構 新領域融合研究センター / 統計数理研究所

TAKAKU.Masao@nims.go.jp, aizawa@nii.ac.jp, baba@ism.ac.jp

1 統計分野の研究者同定

筆者らはこれまで学術分野の研究者氏名の同定を通じたデータベースサービス機能の高度化や複数データベースの統合といった課題に取り組んできた[1][2][3]。

本発表では、統計分野の学会に所属する研究者を対象とした氏名同定結果を報告するとともに、その応用例として論文データベースでの著者を対象とした氏名同定方式の提案を行う。

表 1 に統計分野 3 学会の会員データと、これを科研費報告書データベース(以下、KAKEN)の大規模研究者データセットに対して同定した結果を示す。

表 1 統計分野 3 学会の名簿データ

| 学会 | 会員数 | KAKEN 収録人数 |
|------------------|-------|---------------|
| 日本統計学会 (2003) | 1,545 | 619 |
| 日本行動計量学会 (2005) | 1,070 | 468 |
| 日本計算機統計学会 (2002) | 416 | 168 |

2 研究者同定の一応用: 著者 ID サーバ

研究者同定による応用の一つに、論文データベースにおける著者 ID サーバの構築がある。同姓同名を解消することにより、単なる表記一致を超えた一人一人の研究者を単位とした業績リストの一覧機能などを持つことが出来る。

応用例として、図 1 に、物質・材料研究機構の機関リポジトリにおける著者 ID サーバ概要を示す。この著者 ID サーバは、論文データベースとは独立に構築し、サーバ内に著者情報の結びつきを格納することにより、API 方式で情報入力と検索閲覧を支援す

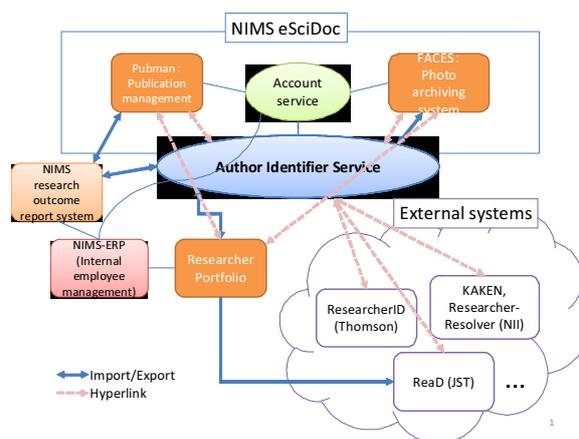


図 1 著者 ID サービスの概要

ることができる。現在、この機関リポジトリおよび著者 ID サーバはマックスプランク研究所との共同研究により開発中であり、進捗状況を報告したい。

参考文献

- [1] 高久雅生, 相澤彰子, 大山敬三, 馬場康維: 統計分野における研究者の氏名同定とその応用. 「大規模データ・リンケージ, データマイニングと統計手法」研究会; 東京, 統計数理研究所; pp.31-36; (2008-01)
- [2] 相澤彰子, 高須淳宏, 深川大路, 高久雅生, 安達淳: “アカデミックリンケージ: 膨大な学術情報へのアクセスを支援するリンケージ基盤”. 情報処理; vol.49; no.8; pp.935-938; (2008-08)
- [3] Masao Takaku, Akiko Aizawa, Yasumasa Baba: “Name Disambiguation of Japanese Researchers: A Case Study with Statistics Research Community”. Proceedings of IASC 2008; Yokohama (2008-12) (to appear)

Towards a researcher identification and its application

Masao Takaku[†] Akiko Aizawa^{††} Yasumasa Baba^{†††}

[†]National Institute for Materials Science

^{††}National Institute of Informatics / The Graduate University of Advanced Studies

^{†††}Research Organization of Information and Systems / The Institute of Statistical Mathematics

Abstract

The authors have constructed a large scale dataset containing researchers in the fields of statistics, which is derived from members' lists of three Japanese academic societies. Researchers in these lists are identified with *Kakenhi* Database. Through this experience, we propose a new "Author ID Service" for an institutional repository at National Institute for Materials Science, as an application of personal identification of researchers. The service is independent from the repository itself and provides search/retrieve/edit API for researchers, and can easily connect a researcher and authors fields in the repository.